

TAKE
FREE

2
度目の

瀬戸内国際芸術祭に行ってきました

びびり

寤寐五靡



■ 森村泰昌モリエンナールまねぶ美術史

■ イサムノグチ庭園美術館

■ 高松・女木島・男木島

03

<http://yukie5e.web.fc2.com/>

「瀬戸内国際芸術祭 2010」高松・女木島・男木島
 + イサムノグチ庭園美術館
 + 高松市美術館「森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史」

前回(7月31日~8月2日)行ったのが小豆島・豊島・直島、
 今回が高松・女木島・男木島です。

地図を見てもわかるように、女木島・男木島は高松側からの方が断然
 行きやすい!高松なら車でも行きやすく、港の無料駐車場も使用できる
 ということで今回の旅は車移動。

ずっと行きそびれていたイサムノグチ庭園美術館もうまく予約がとれたの
 で行ってきました。ホテルから歩いて行ける
 高松市美術館にも行ってきました。



ご好評により「お金の話」(今回も2人旅です)

交通費 (高速料金 4,200 円+ガソリン代 4,000 円)÷2=4,100 円
 ことでん 180 円/船 700 円/バス 600 円 計 5,580 円

宿泊費 (ビジネスホテルアサノ高松 6,400 円+駐車場 840 円)÷2=3,620 円

食費 21 日朝から 22 日夕方まで 4,015 円

酒費 21 日朝から 22 日夕方まで 3,334 円

その他 イサムノグチ庭園美術館 2,100 円
 高松市美術館 モリエンナーレ (パスポート割引) 640 円
 鬼の洞窟入場料 (パスポート割引) 200 円

※パスポートはすでに持っています。 合計 19,489 円/1人あたり

細かい内容は Web にて公開予定! →<http://yukie5e.web.fc2.com>

■「瀬戸内国際芸術祭 2010」高松・女木島・男木島

今回の3カ所は1日でまわれるほどアクセスがよく、コンパクトに多くの作品を見ることができます。特に男木島は作品から作品までの距離が非常に近く、短時間で多くの作品に出会えます。ただ、とにかく坂道や階段が多いので足に疲れがでやすいかもしれません。どの島も共通して言える事ですが、この男木島と女木島の洞窟に関しては、特に！すべりにくい靴で行くことをお勧めします。移動の船については、安くてありがたいのですが、前回乗った船よりもよく揺れていた気がします。椅子ではなく絨毯の平らな席があるので、酔いやすい人はそこで寝転ぶ方が楽かもしれません。高松港に展示されている作品は1日目の夜に鑑賞しました。夜がお勧め！

■ イサムノグチ庭園美術館

往復はがきでの予約が必要であることから、出身地であるものの行くことができていなかった美術館。美術館といえどもそれらしき建物がドカンと建っているわけではありません。イサム氏のアトリエと屋内展示のための蔵、屋外の展示スペース、そして住居として使っていた家屋を見てまわるというものです。写真の撮影は一切禁止。晩年、どんな想いで作品を作っていたのかを想像しながらの見学はとても楽しいものでした。代表作である「エナジー・ヴォイド」は必見です。

■ 高松市美術館「森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史」

高校生の時以来の高松市美術館で森村氏の展覧会鑑賞。セルフポートレートなど、写真や映像の作品はなじみがあるのだが、あらゆるスタイルを模索した習作たちはとても新鮮で興味深いものでした。高松市美術館のコレクションによるオリジナルの作品と森村氏がまねて制作した作品を並べて展示するというなんともお得な展覧会。失礼な言い方になりますが、森村氏のさまよいっぷりがとにかくすごい！見たことのない面白さでした。

■ ごはんのこと

前回の旅につづき、今回も「美味しい旅」でした。1日目のお昼は観光客向けというより地元の人気店であるうどん屋さん「大木戸」でぶっかけ小、おでん、ちくわの天ぶらをつけて490円という安くて美味しいランチ。夜は四国の名物をたっぷり扱っている「びかでり屋」さんで骨付き鶏に米豚にハマチにじゃこてんなどを美味しくいただきました。2日目朝はホテルのプランに入っている無料の朝食で名物おばあちゃんが茹でたうどんをいただき、お昼は作品を眺めながら瀬戸内の魚介類がたっぷり入ったパスタをいただきました。お世辞でもなんでもなく、香川で口にしたものたちはホントにすべて美味しかったです。安価でありながらとても贅沢をさせていただきました。美味しいものたちに、感謝。

瀬戸内国際芸術祭 に行ってきました

● 女木島
● 男木島

8時間弱でまわる女木島・男木島



- サンジャ・サン
- ロルフ・ユリアス
- 鬼ヶ島おにの館
- 福武ハウス 近辺

- 福武ハウス 2010 世界のギャラリーとスペシャルプロジェクト 9:19~10:09
- 行武治美 均衡 10:16~10:23
- 木村康人 カモメの駐車場
- 亮輝 20 世紀的回想 10:28~10:30
- 愛知県立芸術大学アートプロジェクトチーム 愛知芸大・瀬戸内アートプロジェクト 10:33~10:38
- レアンドロ・エルリッヒ 不在の不在 10:43~11:35

- ジャウメ・ブレンサ 男木島の魂 12:43~12:51
- 大岩オスカル 大岩島 12:52~12:56
- 井村隆 カラクリン 12:58~13:00
- 谷山静子 雨の路地 13:06~13:08
- 川島猛とドリームフレンズ 思い出玉が集まる家 13:11~13:30
- 中井中西 海と空と石垣の街 13:32~13:33
- 松本秋則 音の風景 (1) 13:34~13:36
- 松本秋則 音の風景 (2) 13:38~13:44
- 谷口智子 オルガン (1) 13:44~13:46
- 高橋治希 SEA VINE 13:48~13:55
- 北山善夫 誕生・産殿・性・生・死・墓・男木島伝説 (1) 13:56~13:57
- 谷口智子 オルガン (2) 13:58~14:00
- 北山善夫 誕生・産殿・性・生・死・墓・男木島伝説 (2) 14:01~14:04
- 漆の家プロジェクト 漆の家 14:04~14:08
- 島こころ椅子 14:10~14:12
- オンパ・ファクトリー 14:17~14:19
- ジェームズ・ダリング&レスリー・フォーウッド ウォールワーク5 14:27~14:33
- 西沼隆史 うちわの骨の家 14:38~14:43

- 眞壁隆二 男木島路地壁画プロジェクト
- 鈴木順広 ファスナーの船

こんにちは。HAKOBAKA のハコガカ・オノユキエです。

またまた行ってきました瀬戸内国際芸術祭！第2号に続いて今回も、瀬戸内特集になってしまいました。前回同様、汗をたっぷりかきながらのアート鑑賞は、これまた前回同様、本当に楽しいものでした。今回、とてもびっくりしたのは、前回の旅で出会った女性と偶然再会できたこと！（しかも2人！）港でビールを買おうとしていると隣にいたのはバス停で出会ったあのコ。駐車場で隣に停まっていた車のご家族は豊島ギャラリーで出会ったあのコのご家族。縁というのはあるものです。このごびごびを手にしたあなたとも、ステキな縁がありますように。

ハコガカ・オノユキエ

まだまだいろいろ募集！



- ・「ごびごび」をうちの棚に置いとくよっという方！置いて下さい。（四つ折り作業もするよ！という優しい方、さらに募集。）
- ・なにか手伝わせてっという方！なにかおねがいしたいと思います。
- ・フリーペーパーらしく、広告募集！お値段は要相談。まずは生ビール1杯から。
- ・「ごびごび」の宣伝隊長募集！「こんなん知ってるう〜？」と会う人にいちいち宣伝してください。
- ・お仕事募集。イラスト描きます。デザインします。

編集・発行・企画・デザイン・イラストレーション ハコガカ オノユキエ
協力 HAKOBAKA

不定期発行・ハコガカ通信「ごびごび」

第3号 2010年9月5日